

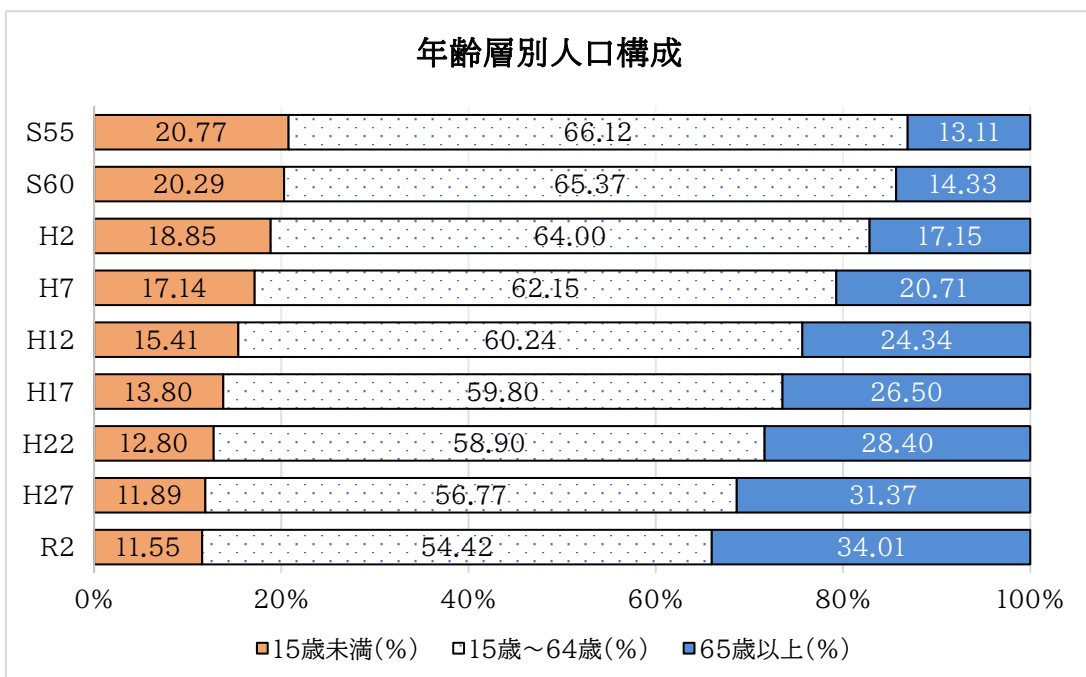
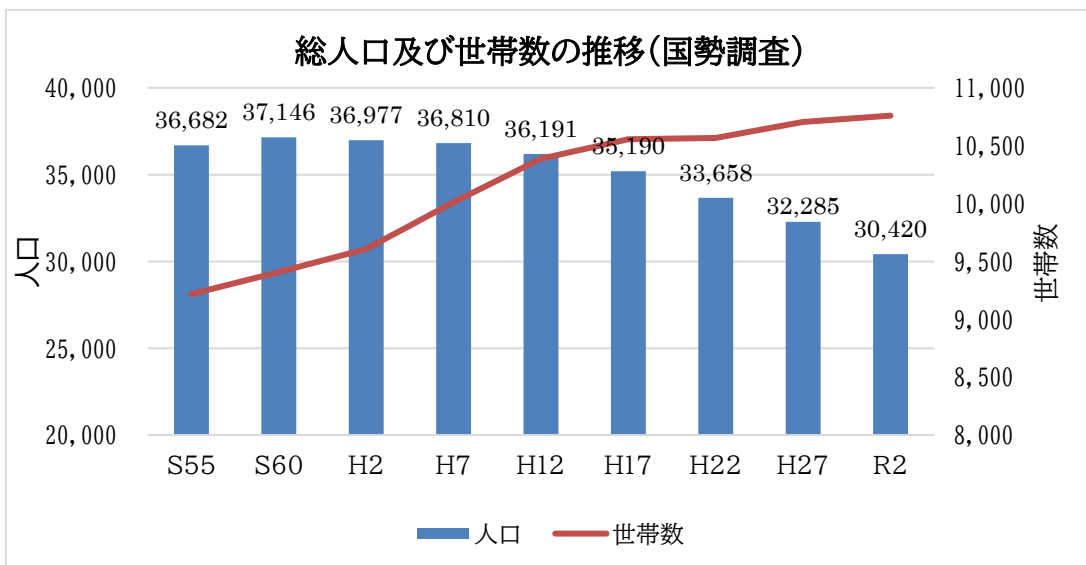
第2章 市の現状

1. 人口構成の推移

(1) 総人口、年齢層別人口構成、男女別年齢層別人口構成

国勢調査による本市の人口推移をみると、2020(令和2)年の総人口は 30,420 人で、1985(昭和60)年以降人口の減少傾向が続いています。2024(令和6)年4月1日現在、住民基本台帳人口は 29,274 人となっています。

また、年齢層別の人口構成では、15歳未満人口と15歳から64歳人口は年々減少しているのに対し、65歳以上人口割合は増加傾向にあり、前計画策定時の2010(平成22)年度には 28.4%でしたが、2020(令和2)年度には 34.0%と 5.6%上昇しており高齢化が進行しています。

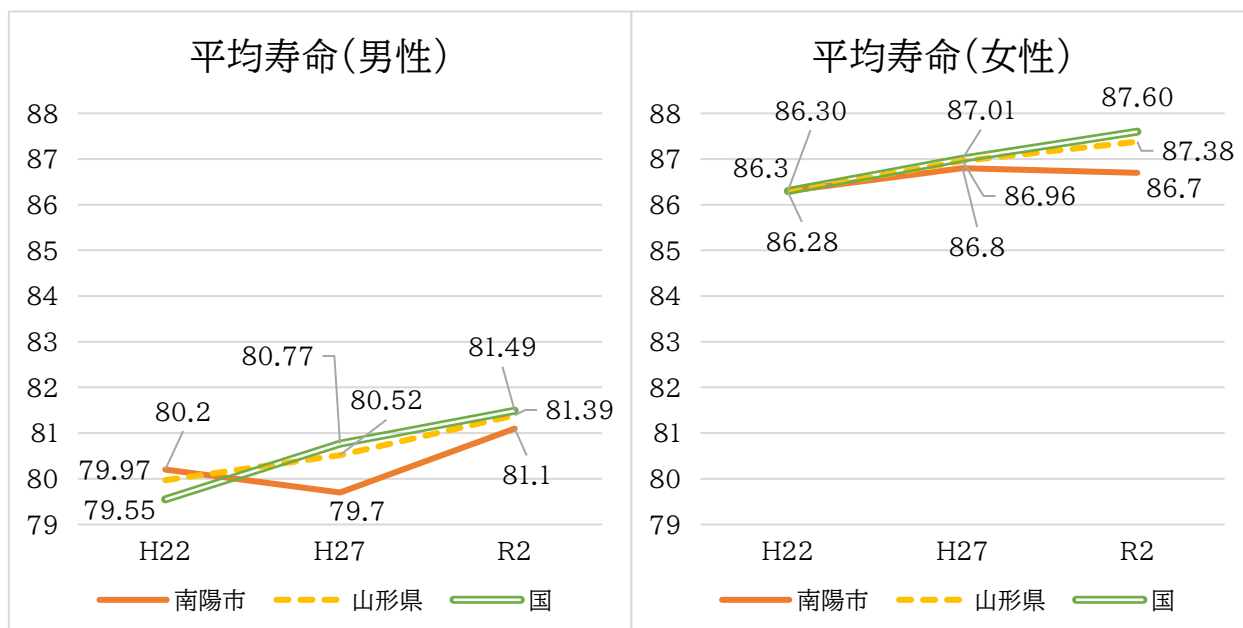


出典:国勢調査

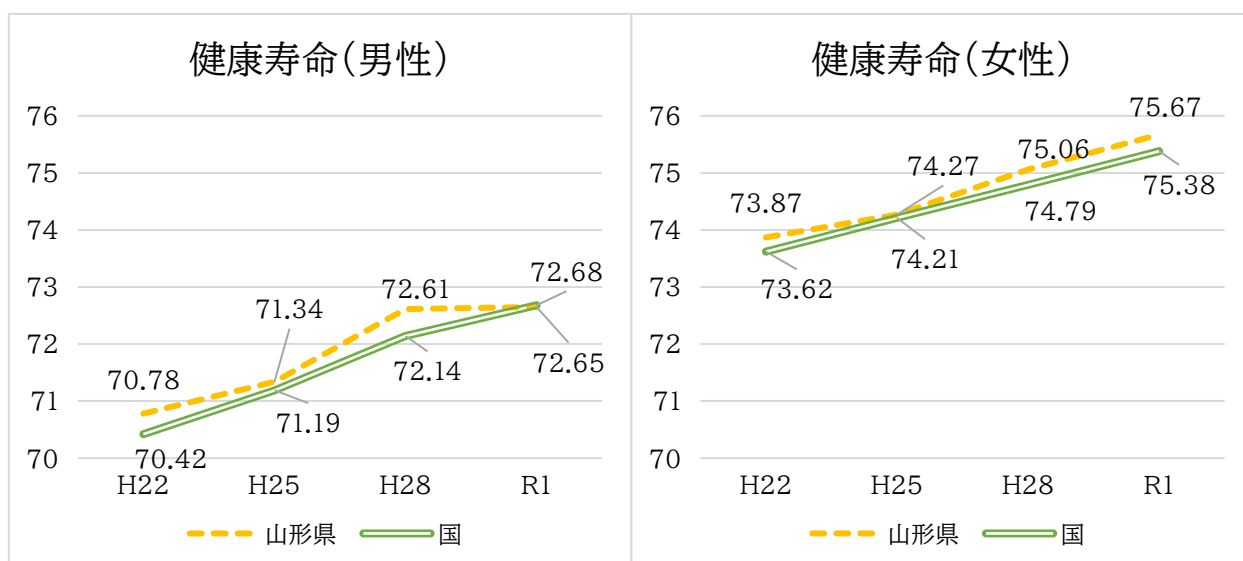
(2)平均寿命・健康寿命

2020(令和2)年の本市における平均寿命は、男女とも全国平均、山形県平均を下回る結果となりました。伸びている傾向にはあるものの、伸び率が全国や県と比べて緩やかな状況です。

また、山形県における健康寿命は2019(令和元)年において男性は72.65歳、女性は75.67歳となっています。男女ともに健康寿命は延びていますが、県における平均寿命と健康寿命との差は、男性が8.74年(全国8.81年)、女性が11.71年(全国12.22年)となっており、男女間では3年近くの差があります。



出典:厚生労働省 平成22年、平成27年、令和2年市町村別生命表



出典:厚生労働省 平成22年、平成25年、平成28年、令和1年簡易生命表

2. 健康状態の現状

(1) 主な死因

山形県の2021(令和3)年の年間死亡数は15,753人で、その内訳は悪性新生物、心疾患、老衰が上位を占めており、全体の50%に達しています。

本市の2021(令和3)年の年間死亡数は469人で、県と同様の傾向が見られ、悪性新生物、心疾患、老衰が主要な死因となっています。県、本市とも、脳血管疾患を抑えて老衰が死因の上位に浮上しています。

本市の部位別悪性新生物死亡数は、気管、気管支及び肺が最も多く、次いで胃、大腸と続いています。

令和3年 死因別死亡数(山形県)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
死因	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎以外の呼吸器系の疾患※
死亡数(人)	3,864	2,548	2,120	1,304	775
構成比(%)	24.5	16.2	13.5	8.3	4.9

※誤嚥性肺炎、間質性肺疾患等

出典：令和3年山形県健康福祉部 保健福祉統計年報

構成比(%)は、死亡総数(15,753人)に対する死因別構成比

令和3年 死因別死亡数(南陽市)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
死因	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
死亡数(人)	105	72	54	52	16
構成比(%)	22.4	15.4	11.5	11.1	3.4

出典：令和3年山形県健康福祉部 保健福祉統計年報

構成比(%)は、死亡総数(469人)に対する死因別構成比

部位別悪性新生物死亡数(平成30年～令和3年累計)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
部位	気管、気管支及び肺	胃	大腸	膵	肝及び肝内胆管
死亡数(人)	81	70	64	56	35
構成比(%)	21.4	18.5	16.9	14.8	9.2

出典：平成30年～令和3年山形県健康福祉部 保健福祉統計年報

大腸は、結腸及び直腸S状結腸移行部の総数

構成比(%)は、悪性新生物による死亡総数(379人)に対する部位別構成比

(2)要介護認定者数の推移

本市における要支援・要介護認定者数は、ほぼ横ばいで推移しています。今後も1,800人程度で推移することが見込まれています。

第1号被保険者に占める要支援・要介護別認定者の推移・推計

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
要支援1	257	200	195	232	251	243	241
要支援2	202	185	158	166	160	170	167
要介護1	424	428	436	465	460	462	461
要介護2	310	292	288	278	258	269	271
要介護3	250	270	275	259	208	230	229
要介護4	251	287	264	257	273	274	273
要介護5	185	161	174	183	165	170	167
合計	1,879	1,823	1,790	1,840	1,775	1,818	1,809

出典：介護保険状況報告(各年9月末日現在)、令和6年以降は「南陽市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)」にて推計

(3)特定健康診査・後期高齢者健康診査

特定健診の受診率は40%台で経過しています。特定健診が始まった2008(平成20)年から、2015(平成27)年度までは30%台で推移しており、その頃から比べれば受診率は伸びているものの、第3期データヘルス計画では県ワースト2位となり受診率が低い状況が示されています。

後期高齢者の健康診査は、受診率は増加傾向にありますが、広域連合全体では2023(令和5)年度の受診率は26.4%となっており、広域連合全体と比較して本市は受診率が低い現状にあります。

特定健診・後期高齢者健診

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健診対象者	4,690	4,680	4,593	4,411	4,235
受診者(人)	2,072	2,025	2,042	1,950	1,893
受診率(%)	44.2	43.3	44.5	44.2	44.7
後期高齢者健診対象者(人)	4,835	5,259	5,075	4,987	5,091
受診者(人)	812	797	840	919	978
受診率(%)	16.8	15.2	16.6	18.4	19.2

特定健診出典：特定健診等データ管理システム「特定健診・特定保健指導実施報告結果報告」TKCA011

後期高齢者健診出典：山形県後期高齢者広域連合統計

(4)南陽市国民健康保険・後期高齢者医療(南陽市)の医療費

国民健康保険は加入者が減少する中で、本市の1人あたりの医療費は、県平均より高い傾向にあります。本市と県の平均の差は約1万3千円となっています。

後期高齢者医療についても、本市の1人あたりの医療費は県平均より高く、約2万円の差が生じています。

2023(令和5)年5月診療分の市町村国保の主要疾病状況をみると、レセプト件数は、男性は高血圧性疾患が最も多く、次いで歯の疾患が続くのに対し、女性では歯の疾患が最も多い状況となっています。

医療費では男女とも悪性新生物が一番多い状況ですが、次いで多いのは男性で高血圧性疾患なのに対し、女性では歯の疾患が多くなっています。

国民健康保険の医療費

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均値
加入者	6,571	6,355	6,265	6,182	5,998	6,274
南陽市1人あたりの医療費(円)	413,820	413,834	391,719	420,305	444,816	416,899
山形県1人あたりの医療費(円)	385,172	396,462	391,075	417,544	428,878	403,826
南陽市と県との差(円)	28,648	17,372	644	2,761	15,938	13,073

※加入者は年度平均数

出典:国民健康保険事業状況報告書(事業年報)A表、C表

令和5年度は集計中のため、令和4年までの5年分を記載

後期高齢者の医療費

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均値
加入者	5,594	5,543	5,463	5,540	5,608	5,550
南陽市1人あたりの医療費(円)	871,560	842,878	863,768	855,120	870,081	860,681
山形県1人あたりの医療費(円)	846,551	816,629	835,555	843,758	859,137	840,326
南陽市と県との差(円)	25,009	26,249	28,213	11,362	10,944	20,355

※加入者は年度平均数

出典:山形県後期広域連合 市町村別受診率等状況、市町村別療養給付費及び療養費の状況

主要疾患レセプト件数(件)

総額医療費(円)

	男性	女性	割合(%)		男性	女性	割合(%)
歯の疾患	15,308	19,313	16.4	悪性新生物	652,308	454,715	15.5
高血圧性疾患	17,708	6,318	16.1	高血圧性疾患	307,309	234,708	7.6
脂質異常症	3,879	8,242	5.7	歯の疾患	201,179	238,808	6.1
糖尿病	5,683	3,353	4.3	統合失調症	213,829	184,594	5.6
悪性新生物	3,721	2,893	3.1	心疾患	254,847	114,863	5.2
心疾患	2,654	1,457	1.9	糖尿病	218,055	108,849	4.6
統合失調症	1,878	1,654	1.7	脳血管疾患	174,464	82,494	3.6
脳血管疾患	1,593	996	1.2	腎不全	161,707	70,366	3.2
腎不全	485	212	0.3	脂質異常症	68,620	113,958	2.5
その他	103,571		49.1	その他	330,579,926		46.2
計	210,918			計	716,147,373		

出典:国保連合会 令和5年5月診療分 市町村国保の主要疾病状況

1保険者当たり生活習慣病の入院医療費点数・外来医療費点数はともに、がんが最も高くなっています。患者千人当たり生活習慣病患者数は高血圧症が最も多く、次いで脂質異常症、筋・骨格、糖尿病の順となっています。患者千人当たり生活習慣病新規患者数は、筋・骨格、糖尿病、がん、脂質異常症、高血圧症の順となっています。

1保険者当たり疾病別医療費の外来医療費点数は、糖尿病が最も高く、次いで高血圧症、慢性腎臓病(透析あり)となっています。

1保険者当たり生活習慣病の入院医療費点数(点)

生活習慣病	保険者	県	国
がん	18,613,638	19,871,145	37,898,557
精神	14,064,442	14,936,010	25,000,513
筋・骨格	9,829,576	8,705,467	18,514,009
脳梗塞	2,567,268	3,419,952	5,930,274
狭心症	1,666,956	1,487,036	3,770,874
糖尿病	918,163	855,202	1,690,252
心筋梗塞	708,756	649,989	1,577,840
脳出血	427,588	1,482,136	3,317,732
動脈硬化症	56,592	149,084	324,691
高血圧症	26,541	181,722	392,966

1保険者当たり生活習慣病の外来医療費点数(点)

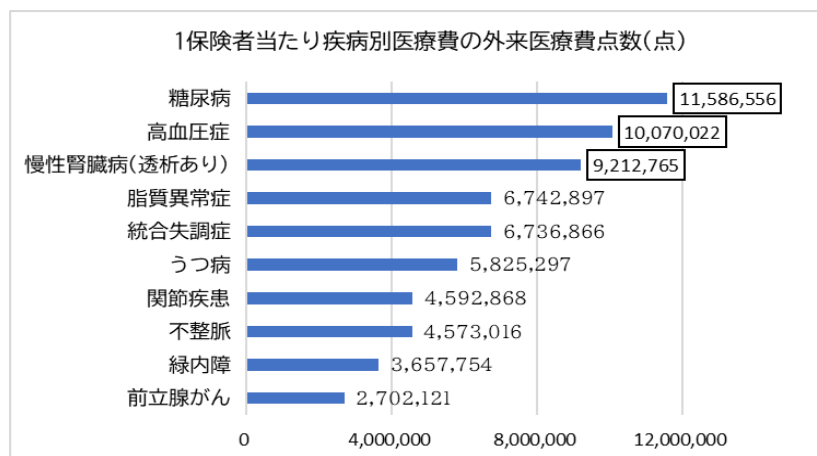
生活習慣病	保険者	県	国
がん	19,614,693	23,256,917	47,261,284
精神	17,595,986	8,306,523	15,043,236
糖尿病	11,994,250	13,007,228	25,992,205
高血圧症	10,070,022	9,652,344	15,169,671
筋・骨格	9,536,477	11,162,075	25,746,800
脂質異常症	6,742,897	7,192,542	10,633,463
狭心症	1,162,580	945,530	1,907,824
脳梗塞	529,748	646,287	1,158,324
脂肪肝	197,913	207,020	433,775
脳出血	112,007	48,885	95,699

患者千人当たり生活習慣病患者数(人)

生活習慣病	保険者	県	国
高血圧症	529.0	501.5	414.4
脂質異常症	445.7	447.0	370.2
筋・骨格	411.9	410.4	408.6
糖尿病	259.2	260.1	229.7
精神	200.8	183.3	183.0
がん	108.0	116.9	109.5
高尿酸血症	100.5	95.5	86.0
狭心症	69.2	62.5	61.8
脂肪肝	60.2	63.1	52.5
脳梗塞	44.1	49.8	43.2

患者千人当たり生活習慣病新規患者数(人)

生活習慣病	保険者	県	国
筋・骨格	55.4	56.5	61.7
糖尿病	17.4	13.3	13.9
がん	14.1	15.7	16.6
脂質異常症	12.7	12.2	12.0
高血圧症	11.4	12.9	13.5
精神	9.4	9.8	11.8
狭心症	2.8	2.0	2.8
高尿酸血症	2.3	3.1	2.9
脳梗塞	2.3	2.5	2.4
脂肪肝	1.2	2.1	2.2



出典:第3期データヘルス計画